

平成19年度 社会実験実施地域一覧（追加分）

No.	地域	実験名称	実験概要
1	埼玉県 本庄市	本庄市の旧市街地・歴史拠点の道案内システムの実験	本庄市において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施するとともに、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を実施し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
2	東京都 渋谷区	広尾散歩通りの快適歩行空間形成に向けた社会実験	渋谷区において、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を実施し、周囲への影響や安全性の検証を行う
3	新潟県 南魚沼市	浦佐本町商店街毘沙門通り歩車共存道路化社会実験	南魚沼市において、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を実施し、周囲への影響や安全性の検証を行う
4	静岡県 浜松市	国道152号子安交差点改良社会実験	浜松市の交通事故が課題となっている交差点において、舗装のカラー化や注意看板の設置等を実施し、周囲の影響や安全性の検証を行う
5	愛知県 犬山市	犬山市沿道空間と一体となった道活用方策の検討の実験	犬山市において、歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を実施し、周囲への影響や安全性の検証を行う
6	岐阜県 白川村	白川郷・飛騨地域観光車両コントロール社会実験	白川村において、駐車場の有効活用を図るために、道路管理者と交通管理者が連携して、駐車空間の効率的な配分システムを実施し、効果の検証を行う
7	高知県 須崎市	すさきサービスエリアタウン体験実験	須崎市において、まち全域をサービスエリアに見たて、高速道路利用者をまちに誘導するために、案内マップ等の作成、主要交差点への記号や通り名を記した標識の設置を行い、高速道路利用者の誘導及び案内を実施し、効果の検証を行う
8	佐賀県 唐津市	唐津まちなか地区道案内社会実験	唐津市において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
9	熊本県 熊本市	情報発信媒体としての道路空間の活用可能性に関する社会実験	熊本市において、地域に必要な公的情報について道路空間を活用して提供を行い、効果の検証を行う
10	大分県	やまなみハイウェイ沿線の看板・案内標識に関する社会実験	大分県において、わかりやすい案内・誘導と良好な沿道景観の実現のために、沿道の看板を集約し、効果の検証を行う。
11	鹿児島県 南さつま市	広域的な通り名システムの有効性の検証実験	南さつま市において、広域的に通里名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する。